

教員免許状更新講習のご案内

サマーリフレッシュプログラム

専門性を更に高めたい方へ

リカレント生としての受講も可能です

(保育士の方の受講も歓迎します)

平成29年7月29日(土)～8月2日(水)

学校法人 郡山開成学園

郡山女子大学

郡山女子大学短期大学部

教員免許状更新講習

サマーリフレッシュプログラムお申込みの概略

教員免許状の修了確認期限をご確認ください。

(文部科学省 HP や本案内10ページなど)

ご自分が対象者である場合にお申込みができます。

メールに「受付ファイル」を添付して、送信します。

(1メールアドレスにつき、1名の受付となります)



受講可能な場合、申込みに必要な書類が郵送されてきます。

(定員を超え受講不可能な場合は、葉書でその旨のお知らせをいたします。)

書類を作成し、受講料を振込みます。

書類を郵送します。



**書類および受講料振込が確認できた方から、受講者名簿に登録されます。
受講票が郵送されてきます。**

【お申込み時の諸注意】

1. 本大学は開設大学ですので、受講対象者かどうかのお問い合わせに関してお答えすることはできません。管轄する教育委員会などに問い合わせるようお願いいたします。
2. 証明者記入欄に関しても、ご不明な点は、管轄する教育委員会などに問い合わせるようにしてください。
3. お申し込みの詳細は、11ページをご覧ください。
4. 「個人情報の保護に関する法律」に基づきいただいた個人情報については、利用目的に沿って、適正にお取り扱いいたします。

①教育の最新事情(中・高教諭対象)

7月29日(土)

8:10～ 受付開始

8:50～ 開講式、諸連絡

<定員 90名>

時 限	時 間	内 容 および 担 当 者
I (90分)	9:00～10:30	国の教育政策や世界の教育の動向 石堂 常世 教授
II (90分)	10:40～12:10	教員としての子ども観、教育観等についての省察 石堂 常世 教授
III (90分)	13:10～14:40	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見 (特別支援教育に関するものを含む。) 垣花 真一郎 明治学院大学 准教授
IV (90分)	14:50～16:20	子どもの生活の変化を踏まえた課題 泉 秀生 東京未来大学 講師
評価 (30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 当講習では、①国の教育政策や世界の教育の動向、②教員としての子ども観、教育観、③子どもの発達に関する近年の知見と特別支援教育の課題、④子どもの生活習慣の変化を踏まえた新たな対応としての生徒指導の講義を行います。なお、④では、近年重要な課題となっている子どもの貧困問題を扱いますが、①②③においても、当テーマについて適宜言及されます。当講習は、中高の教諭が標準対象ですが、小学校教諭の受講も可能です。

②幼児教育の最新事情(幼稚園教諭対象)

7月29日(土)

8:10～ 受付開始

8:50～ 開講式、諸連絡

<定員 120名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (90分)	9:00～10:30	子ども子育て支援新制度と世界の教育の動向 島山 祥正 宇都宮共和大学 教授
II (90分)	10:40～12:10	子どもの生活の変化を踏まえた課題 島山 祥正 宇都宮共和大学 教授 奥 美代 本学附属幼稚園 主事
III (90分)	13:10～14:40	子どもの発達に応じた現代的課題と特別なニーズをもつ子どもの理解 小林 徹 教授
IV (90分)	14:50～16:20	教員としての子ども観、教育観等についての省察 折笠 国康 准教授
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 幼稚園教諭を主な対象とします。「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、世界観等についての省察」「子どもの発達に関する心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指します。また、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会を実現するために、子どもの貧困問題について理解を深めます。

選択必修領域 I

選択必修領域 I (中・高教諭対象 ③～⑤から一つ受講)

7月30日(日)

③法令・学習指導要領の動向 <定員30名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95 分)	8:55～10:30	法令改正及び国の審議会の状況等 佐久間 邦友 講師
II (90 分)	10:40～12:10	
III (90 分)	13:10～14:40	学習指導要領の改訂の動向(道徳の教科化を含む) 関根 明伸 国土館大学 准教授
IV (90 分)	14:50～16:20	
評価(30 分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 当講習においては、前半では「法令改正及び国の審議会の状況等」に通底する本質的動向を解説し、さらに、近年増加の一途をたどっている教育の場への様々な要請への対応を、教育政策的観点から考察いたします。後半では、戦後の学習指導要領の変遷を中心にとりあげながら、現行の学習指導要領の課題点と改訂に向けた近年の文科省の方針および改革の動向について理解を深めていきます。

④教育の情報化 <定員30名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95 分)	8:55～10:30	石原 正道 准教授
II (90 分)	10:40～12:10	
III (90 分)	13:10～14:40	山口 猛 講師
IV (90 分)	14:50～16:20	
評価(30 分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 情報通信技術の環境整備が進み、授業での活用力が求められている。しかし既存のデジタル教材だけでは柔軟な授業展開が困難である。そこで、教員が独自のデジタル教材を開発する方法の理解を深めることを目指す。また情報機器を用いた際にトラブルが発生していることをふまえ、情報通信における環境を安全に利用するための情報セキュリティや情報倫理について学ぶこととする。

⑤教育相談<定員40名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95 分)	8:55～10:30	折笠 国康 准教授
II (90 分)	10:40～12:10	
III (90 分)	13:10～14:40	富士盛 公年 教授
IV (90 分)	14:50～16:20	
評価(30 分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 教育相談の最新の研究成果を学びます。講習の前半では、学級全体や個の生徒の様子を客観的に俯瞰するために、学級満足度尺度(Q-U)の基本的な読み取り方を学びます。更に、時代に即した学級経営や生徒指導とはどのようなものなのかについて、アドラー心理学等を基に考察します。講習の後半では、コラージュなどのアセスメントの方法と事例、解決志向ブリーフ・セラピーの具体的な面接技法、危機対応の方法について具体的な説明をします。

選択必修領域 II

選択必修領域II（幼稚園教諭対象 ⑥～⑧から一つ受講）

7月30日(日)

⑥組織的対応の必要性・危機管理上の課題 <定員 40名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95 分)	8:55～10:30	園の内外の各種問題に対する組織的対応の必要性 安齊 悦子 大槻中央幼稚園 園長
II (90 分)	10:40～12:10	
III (90 分)	13:10～14:40	園の内外における危機管理上の課題 賀門 康博 本学附属幼稚園 園長
IV (90 分)	14:50～16:20	
評価(30 分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 園内外の各種問題に対する組織的な対応策及び危機管理上の課題について実践例をもとに理解を深めることを目指します。

⑦保育相談支援 <定員40名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95 分)	8:55～10:30	富士盛 公年 教授
II (90 分)	10:40～12:10	
III (90 分)	13:10～14:40	小林 徹 教授
IV (90 分)	14:50～16:20	
評価(30 分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 教育相談の最新の研究成果を学びます。コラージュなどのアセスメントの方法と事例、解決志向ブリーフ・セラピーの具体的な面接技法、危機対応の方法について具体的な説明をします。また、保育現場では障がい児の将来像をイメージした支援が望ましいが、就学先との連携は難しい状況にある。本講習では特別支援学級における教育および地域支援の実践事例から、障がい児の将来を見通したヒントを導き出す。

⑧保育における国際理解及び異文化理解教育 <定員40名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95 分)	8:55～10:30	柴田 卓 講師
II (90 分)	10:40～12:10	
III (90 分)	13:10～14:40	猪狩 健壽 葛尾キッズ(放課後子ども教室) 代表
IV (90 分)	14:50～16:20	
評価(30 分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 保育環境や健康教育の在り方、保育者の労働環境を中心にスウェーデン・フィンランド・デンマークの事例を紹介し、次に、紹介した事例の中からいくつかの活動を実際に体験してもらいます。体験を通して遊びを学びへと掘り下げます。また、国際理解及び異文化理解について、教育現場における実践例に基づいて理解を深めます。

選択領域 家庭科(中・高教諭対象)

7月31日(月)

⑨家庭Ⅰ 家族・福祉と家庭経営 <定員40名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55~10:30	より良く生きる福祉の力 廣野 正子 講師
II (90分)	10:40~12:10	より良く生きる福祉の力(演習)~アロマテラピーで生活の質を高める 廣野 正子 講師
III (90分)	13:10~14:40	少子社会における家族と子育て支援 知野 愛 准教授
IV (90分)	14:50~16:20	経済と家庭経営 長谷川 貴弘 講師
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 I コマは、福祉の現場で行われているアロマテラピーの実証研究を解説します。II コマは、実際に体験しアロマテラピーをとおして、生活の質を高めることを考察します。III コマは、少子社会の状況を統計的に捉えた上で、家族の変容や様々な子育て支援について考察します。IV コマは、企業・政府と共に社会の重要な単位としての「家計(家庭)」の経済活動が、ライフステージに伴いどのような変遷をたどるかについて分析します。

8月1日(火)

⑩家庭Ⅱ 快適な衣食住 <定員40名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55~10:30	栄養の機能と食品の選択 源川 博久 准教授
II (90分)	10:40~12:10	快適な住空間 阿部 恵利子 講師
III (90分)	13:10~14:40	快適な衣生活 武井 玲子 教授
IV (90分)	14:50~16:20	
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 I コマは、日本人が不足している栄養素の一つであるカルシウムと鉄について、生化学、栄養学および食品学の観点より代謝や摂取量等について取り上げます。II コマは、多様化するライフスタイルに求められる居住空間について、住環境の観点から事例をとおして考察します。III・IV コマは、被服や履物、マスク・生理用品の特徴や機能について実験を交えて理解を深めます。また、安全で快適な衣生活を送るポイントを購入から廃棄までのプロセス毎に学びます。

8月2日(水)

⑪家庭Ⅲ 食生活と健康 <定員40名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55~10:30	食生活の現状と課題~ミネラル摂取を中心に~ 佐藤 典子 准教授
II (90分)	10:40~12:10	ミネラル摂取を意識した献立と調理実習 菊池 節子 准教授
III (90分)	13:10~14:40	
IV (90分)	14:50~16:20	アクティブラーニングを取り入れた家庭科の授業 佐藤 典子 准教授
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 I コマは、国民健康・栄養調査の結果をもとに、ミネラル摂取の現状と課題を「不足」と「過剰」をキーワードに解説します。II・III コマは、成長期の児童・生徒はじめ、どのライフステージでも不足しがちな鉄分に着目し、松花堂弁当の調理実習を通して、鉄分摂取のヒントについて紹介します。IV コマは、塩分に着目し、体験を取り入れた授業づくりの視点について、新しく施行された食品表示法の解説を交えながら提案します。

選択領域（幼稚園教諭対象）

⑫7月31日(月) 幼Ⅰ 現代の子どもの劇表現と安全、体験 <定員120名>

時限	時間	内容及び担当者	
		Aグループ	Bグループ
I (95分)	8:55~10:30	劇づくりで育つ子どもたち 山本 直樹 有明教育芸術短期大学 准教授	安全管理と応急処置 永瀬 悦子 講師
II (90分)	10:40~12:10		子どもの成長と体験 山上 裕子 准教授
III (90分)	13:10~14:40	安全管理と応急処置 永瀬 悦子 講師	劇づくりで育つ子どもたち 山本 直樹 有明教育芸術短期大学 准教授
IV (90分)	14:50~16:20	子どもの成長と体験 山上 裕子 准教授	
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価	

【講習内容】 どのような体験がよりよい成長へつながるのか、デュイイ実践論をもとに「知」を育てる保育を考えます。また、乳幼児の事故の状況を把握し、安全な環境整備の必要性を理解します。包帯・三角布(ハンカチ含む)を利用した応急処置の実際を学習します。劇的表現(ドラマ)の体験を通して、自己表現やそれを他者と交流することの楽しさを改めて体感し、その体験を通して、表現者として子どもと向き合うために必要な力、子どもの表現を促すための工夫や心構えについて受講生と共に検討します。

⑬8月1日(火) 幼Ⅱ 現代の子どもの権利擁護と自然体験活動 <定員120名>

時限	時間	内容及び担当者	
		Aグループ	Bグループ
I (95分)	8:55~10:30	子どもの権利養護について 古川 督 講師	子どもとひらく科学の世界 伊藤 哲章 講師
II (90分)	10:40~12:10		子どもとひらく科学の世界 伊藤 哲章 講師/柴田 卓 講師
III (90分)	13:10~14:40	子どもとひらく科学の世界 伊藤 哲章 講師	子どもの権利養護について 古川 督 講師
IV (90分)	14:50~16:20	子どもとひらく科学の世界 伊藤 哲章 講師/柴田 卓 講師	
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価	

【講習内容】 子どもの権利擁護について「子どもの権利条約」を中心に理解を深めるとともに、グループワークを通して子育てにかかわる人(保護者や教員)の権利及び身近なトピックスから教育に関連するさまざまな人権問題について考察します。また、子どもが探究的な活動を行うときに保育者が念頭におくべきポイントについて、ワークショップを通して体験します。

⑭8月2日(水) 幼Ⅲ 現代の子どもの造形表現と音楽表現 <定員120名>

本学でグループ、クラス分けをいたします。

時限	時間	内容及び担当者	
		Aグループ	Bグループ
I (95分)	8:55~10:30	1. 創作イメージと描画表現力を育む 早川 仁 准教授 2. 体感する造形遊び 草野 葉子 准教授	音楽で育つ子どもの世界 三瓶 令子 教授 菅原 美謝 非常勤講師
II (90分)	10:40~12:10		
III (90分)	13:10~14:40	音楽で育つ子どもの世界 三瓶 令子 教授 菅原 美謝 非常勤講師	3. 創作イメージと描画表現力を育む 早川 仁 准教授
IV (90分)	14:50~16:20		4. 体感する造形遊び 草野 葉子 准教授
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価	

【講習内容】 創作物の制作等の活動を行います。造形要素を生かし、既成概念を取り払った豊かな発想力・造形力を身に付け、保育現場で実際に生かせる力を身に付けます。また保育者自身が音楽の「表現者」として成長するとともに、幼児の「表現を育てるもの」として成長すること等について、ワークショップを通して体験します。

選択領域 (中・高教諭対象)

7月31日(月)

⑮美術Ⅰ 好きな絵をハートで描く <定員15名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55~10:30	新しい表現への試み 浅野 章 教授
II (90分)	10:40~12:10	
III (90分)	13:10~14:40	
IV (90分)	14:50~16:20	
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 「上手い絵」と「いい絵」は必ずしも同じではありません。大人は何故、幼児の素朴な絵に感動するのでしょうか。不器用な手先に拙い技法。でもそこには純粋な気持ちと生き生きとした心が感じ取れます。本講座ではご自身の、思い出の写真をコピー機で自由に拡大・縮小しバランスを見ながら切ったり、ちぎったりしてボール紙台紙に貼り込んでいき、さらに彩色をして完成へと向かいます。ここでは拡大・縮小したものを組み合わせることによる「意外性」を体験し自分だけの、ときめくような独創的世界を創りだしていきます。

※⑮の講座は、リカレント生として定員とは別に若干受け入れをいたします。

8月1日(火)

⑯美術Ⅱ プリントによる伝達表現及び映像表現 <定員15名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55~10:30	凸版、凹版、孔版を用いた作品製作 齊藤 弘久 教授
II (90分)	10:40~12:10	
III (90分)	13:10~14:40	映像表現—スキャニメーションの制作— 小松 太志 准教授
IV (90分)	14:50~16:20	
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 I・IIコマは、グラフィックデザインにおける印刷技術の活用と表現手段の解説。様々な印刷表現に必要な紙の解説、及びシルクスクリーンによる制作。実際に印刷するイメージの原稿を作成して、感光乳剤を塗布し感光、現像を経て単色プリントまでを行います。III・IVコマは手描きの画像をコンピュータで編集して、スキャニメーション(スリットアニメーション)を制作します。また、映像メディア表現の授業への導入方法について考察します。

8月2日(水)

⑰美術Ⅲ 木を用いた授業の指導について <定員15名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55~10:30	木彫作品制作 黒沼 令 講師
II (90分)	10:40~12:10	
III (90分)	13:10~14:40	
IV (90分)	14:50~16:20	
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 一般的に日本は木の文化と言われています。木造建造物や仏像、また、様々な生活用品として、身近な素材であるとともに、木の性質、しなやかさや抵抗感、肌合いなど、彫刻材料として造形する上でもとても魅力的な素材です。本講習では木彫作品の制作を通して、木材の性質、道具の種類や扱い方など木彫の基本的な技能の習得と、中学生や高校生を対象とした授業素材としての木の性質的な魅力や制作過程における教育的意義などを検討することを目標とします。

選択領域 (中・高教諭対象)

7月31日(月)

⑱音Ⅰ 指導法・楽器論・伴奏法 <定員20名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55~10:30	音楽科指導の工夫～音楽を形づくっている要素と音楽レトリック～ 磯部 哲夫 准教授
II (90分)	10:40~12:10	
III (90分)	13:10~14:40	管楽器の基礎知識と指導のポイント 南川 肇 講師
IV (90分)	14:50~16:20	ピアノ伴奏のポイント 深谷 登喜子 教授
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】「音楽科指導の工夫」ではレトリック(音楽修辞)を用いて効果的な音楽表現法を実践します。現場ですぐに役立てることが出来るように解説します。「管楽器の基礎知識と指導のポイント」では、楽器の簡単な特性を理解し、呼吸法やアーティキュレーションなど、指導のポイントを解説します。「ピアノ伴奏のポイント」では、教科書の楽曲、コンクール等の合唱、その他の伴奏のポイントについて解説します。

8月1日(火)

⑲音Ⅱ 編曲法・歌唱法 <定員20名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55~10:30	アレンジに挑戦しよう～器楽曲・合唱曲の編曲法の実際について～ 岡部 富士夫 教授
II (90分)	10:40~12:10	
III (90分)	13:10~14:40	教員のための歌唱表現講座～発生の基本と応用、歌唱指導のポイント～ 磯部 哲夫 准教授／横溝 聡子 准教授
IV (90分)	14:50~16:20	
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】「アレンジに挑戦しよう」では移調楽器の考え方に加えて、和声、対位法との関連を学び、室内楽や合唱の簡単なアレンジに挑戦します。また現場での問題について話し合い、解決の糸口を探ります。「教員のための歌唱表現講座」では発声指導の基盤と応用、感性を歌唱で表現するための歌唱指導等、日頃学校現場で歌唱について感じている問題の解決を目指します。

8月2日(水)

⑳音Ⅲ 指揮法の基本と応用 <定員20名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55~10:30	指揮法を学ぼう～音楽の仕組みや指揮の基本について、合奏、合唱の指導のために～ 岡部 富士夫 教授／深谷 登喜子 教授／横溝 聡子 准教授
II (90分)	10:40~12:10	
III (90分)	13:10~14:40	
IV (90分)	14:50~16:20	
評価(30分)	16:20~16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】「指揮法を学ぼう」では実際の指揮法の基本について学び、形式や和声法などの楽曲分析を行う事によって楽曲を正しく演奏に結び付けていくテクニックを学びます。また、指揮法の応用では、実習を通して現在抱えている問題や悩みについて共に考えます。

【お申込みの前に】

A. 教員免許状更新講習として受講する場合

県内外、公立、私立、1種、2種、学校種、性別(男性も可)を問わず、受講可能です。

(1)今年度の受講該当者

- ①〈第8グループ〉最初の修了確認期限が平成30年3月31日
1982年(昭和57年)4月2日～1983年(昭和58年)4月1日生
1972年(昭和47年)4月2日～1973年(昭和48年)4月1日生
1962年(昭和37年)4月2日～1963年(昭和38年)4月1日生
- ②〈第9グループ〉最初の修了確認期限が平成31年3月31日
1983年(昭和58年)4月2日～1984年(昭和59年)4月1日生
1973年(昭和48年)4月2日～1974年(昭和49年)4月1日生
1963年(昭和38年)4月2日～1964年(昭和39年)4月1日生

(2)その他の受講該当者

- ・採用内定者、過去に教諭として勤務した経験者、教員になる予定者、臨時任用(または非常勤)、教員リスト登載者、教員リストが無い場合の該当者、教員を任命・雇用することができる学校法人や教育委員会が認められた方、幼稚園教諭免許状をお持ちの該当者(下記の条件を満たし当該施設の設置者の証明のある者)
 - ・認定こども園で保育士として勤務している方
 - ・勤務する保育所の設置者で幼稚園も運営している方

(3)講習料(更新事務手続き料込み)

- 必修領域: 6,000円
- 選択必修領域: 6,000円
- 選択領域: 6,000円(1日あたり) ※①家庭Ⅲは、6,500円(教材費込)

B. リカレント生、聴講生として受講する場合

- (1)ご自分の専門性をさらに高めたい、興味・関心があるので講座を聴講してみたい方。
- (2)講習料(更新事務手続き料なし)
 - 必修領域: 5,000円
 - 選択必修領域: 5,000円
 - 選択領域: 5,000円(1日あたり) ※①家庭Ⅲは、5,500円(教材費込)
- (3)修了証書等の発行はありません。
- (4)お申し込み後、免許状更新講習への変更はできませんので、ご注意ください。

※希望する方はお早目にお申込みください。受講環境確保のため、定員に達した時点で締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

【お申込み手続きについて】

A. 教員免許状更新講習の場合

1. 本ホームページ上の、「受付ファイル」をパソコン上の任意の場所へ保存し、必要事項を入力します。
2. メールソフトを起動し、下記アドレスに、「受付ファイル」を添付送信します。
※1 メールアドレスにつき、1名のお申込みとさせていただきます。複数のファイルが添付されていた場合は、1名のみでの処理がおこなわれますので、ご注意願います。

受付は、4月17日(月)午前10:00
～5月2日(火)正午12:00までです。

e-summer@koriyama-kgc.ac.jp

3. 自動受信確認メールが届きます。
4. 受講可能な場合、申込みに必要な書類一式が郵送されます。
 - ・残念ながら定員を超え、受講不可能な場合、その旨が記載された葉書が郵送されます。
5. 申込書類の書き方
 - ①「受講申込書」と「受講票」(※印の部分のみ)の記入をしてください。
 - ・住所は略さず、アパート・マンション名、部屋番号まで記入してください。
 - ・パソコンメールから受信可能な e-mail アドレスを記入してください。
 - ・写真は、「申込書」と「受講票」、ともに同じものを貼付けてください。
 - ②「受講申込書」に、各学校長、園長等から「受講申込の証明者記入欄」に受講該当者であることを証明していただきます。
 - ・証明は公職印とし、私印は不可となります。
6. 「振込金依頼書」で、受講料の振込をしてください。
 - ・銀行の窓口、ATM でも可能です。
 - ・確認のため、「振込金領収証」等を大学に提出していただくことがありますので、大切に保管してください。
 - ・振込手数料は受講者負担となります。
7. 書類を郵送してください。
 - ・「受講申込書」、「受講票」、「アンケート」など。
 - ・書類の確認、そして受講料の振込が確認できた時点で、受講者名簿に登録されます。
8. 「受講票」等が郵送されます。⇒ **受講の正式決定**となります。
9. 7月上旬、講習詳細のご案内が郵送されます。

10. 受講

必須領域	7月29日(土)
選択必須領域	7月30日(日)
選択領域	7月31日(月)～8月2日(水)

※選択必修領域、選択領域では、I 限目の始めに、5分程度のオリエンテーションをおこないます。
※担当者は変更になる場合もあります。
※各時間の中で試験等をおこない、総合して最終評価を出します。

11. 修了認定の上、「修了証」(履修証明書)が郵送されます。
・平成29年9月15日(金)までに随時発送いたしますが、お手元に届かない場合は、「お問い合わせフォーム」より、ご連絡下さい。
12. ご自身が勤務する学校の所在する各都道府県(免許管理者)に、更新講習受講修了の申請を、各自でおこないます。
13. 更新講習終了確認書が発行されます。
14. 次の修了確認期間(10年後)まで、免許状有効となります。

B. リカレント生、聴講生として受講する場合

上記 A-5 ②の証明印は不要です。
なお、本学において「生涯学習講座」を受講されている方は、2枚の写真は必要ありません。

<辞退について>

毎年、多くの受講希望者に受講をお断りしている状況が続いております。辞退はなるべく避けていただきたいのですが、やむなく受講を辞退される場合は、必ず「お問い合わせフォーム」で、ご連絡ください。なお、一旦納入された後の返金は、手数料として、一講座(1日)につき3000円+振込手数料を申し受けます。また、受講開始日(7月29日)以降の辞退の返金はいたしかねますので、予めご了承ください。

<お問い合わせ先>

・住所等の変更が生じた場合やご質問等は、本ホームページの「お問い合わせフォーム」から、お問い合わせします。電話でのお問い合わせには応じられませんので、ご注意ください。

<書類郵送先>

〒963-8503 郡山市開成3-25-2 郡山開成学園
教員免許状更新講習 サマーリフレッシュプログラム係
「受講申込書在中」(← 朱書きでご記載ください。)